

西大和学園報

第 46 号
2015. 5. 16
発行
西大和学園

想像を超えた成長を

学校法人 西大和学園 理事長



田野瀬太樹

今年の中学の入学式では新入生に向けて、ちょうど30年前に公開され大ヒット

となった映画、バック・トゥ・フューチャーを題材に話をしました。映画の2作目で描かれた未来の2015年と、実際にやってきた2015年の違いは大変興味深く、現実が想像に全く追いついていない分野もあれば、通信やコンピュータなど、想像をはるかに超えて進化を果たした分野もあります。このことから、絶え間なく改善の努力を続け創意工夫を積み重ねることで、人や社会は想像を超えて成長、発展することができるということを伝えました。新入生たちにもこれから始まる西大和学園での学校生活において、日々の努力や様々な経験を通じて、自分たちが想像している以上の成長を遂げて欲しいと願っています。そして今年には1986年に開校した西大和学園にとっても、創立から30年目の節目の年です。30年前の創立当初、この学校が全国有数の進学校として数えら

れ、また大学までを擁する総合学園として大いなる発展を遂げることを誰が想像したでしょうか。われわれはこの先もまた、自分たちが想像する以上の成長を遂げられるように努力を続け、日本の教育をリードする存在となるよう、邁進してまいりたいと思います。

新たな一歩を踏み出した西大和学園に對しまして、一層ご注目いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

信頼の絆を大切に



学園長 中学校長
上村 佳永

今年も希望に輝く新入生を迎えて、学園全体が活気に満ち

溢れた新年度をスタートできましたことは、我々にとって、大きな喜びです。今年、西大和学園では、創立30周年の記念すべき節目を迎えます。今まで築き上げてきた良き伝統を継承しつつ、西大和学園が日本一の進学校へのステータスを駆け上る好機を手繰り寄せていくために、我々教職員も、新たなことにも勇気をもって果敢に挑戦して参りたいと考えておりま

す。生徒の皆さんにとって、本校で過ごす数年間こそが、最も多感で、人生の方向づけをする大切な時期となります。皆さんはこの間に、自分を知り、自分らしい生き方を懸命に追い求めることになりす。将来、社会において果たすべき使命を自覚し、志を高く掲げ、明確な目標を持ち、充実した学園生活を送ってくださることを願ってやみません。皆さんには、一人一人優れた能力や才能があり、大きな可能性が秘められています。この可能性を信じて、決して諦めることなく、失敗を恐れず挑戦し、その優れた能力を開花してくれることを期待しています。

最後に保護者の皆様にお願いを申し上げます。本校としては、子供達の健全な成長を願い、豊かな個性を育てていくためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながらも、相互に補充し合い、連携を密にしていくことが何よりも重要なこととなります。今後とも引き続き、本校教育に深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらなる飛躍を

高等学校長 福井士郎



今年、西大和学園は30歳になります。今まで培ってきた実績をさらに発展させ、まさに

年でもあります。これからさらに発展し続ける学園ではありますが、ときには様々な困難が待ち受けていることと思います。しかし必ずそれを克服し目標を達成するという決意をいままです以上に強く固めております。このような記念すべき年に入学された中学・高校生の諸君を大いなる期待を込めて歓迎いたします。一日も早く学校生活に慣れ、勉学や課外活動に積極的に取り組んでくれることを願っています。多くの友人をつくり、互いの能力、価値観を尊重しあい、お互い切磋琢磨し、興味のある事は徹底的に追求し、自分の視野を広げ、社会に関心を持ってください。

本校は、国内だけでなく国際的に活躍できる有能な人材を輩出することを目標にしており、それに対応した多彩な教育を行っております。これからの世界は従来の常識では対応できない場面が多々あるかと思われす。20年後、30年後の世界は山積する未解決の問題で身動きが取れなくなっているかもしれません。そんな中であって一流の知性と行動力発信力があり、忍耐強く困難に立ち向かう人物が待望されるのは当然のことと言えるでしょう。本校はまさにそのような人物を輩出したいと願っています。



京都大学合格者数 日本一！

進学
統括室

東大28名・京大81名・

国公立医学部医学科52名

平成27年度、本校の京都大学合格者数が81名となり、全国1位、日本一を達成しました。また

東京大学合格者数は28名で全国19位でした。東京大学・京都大学の現役合格者数は71名となります。

国公立大学合格者総数は295名で、その内、国公立大学医学部医学科合格者は、京都大学（4名）、大阪大学（2名）をはじめとして、東北大、福井大、山梨大、信州大、岐阜大、滋賀医科大（3名）、神戸大（5名）、鳥取大（2名）、岡山大、広島大、徳島大、香川大、九州大、長崎大、宮崎大（3名）、福島県立医科大、横浜市立大、名古屋市立大、京都府立医科大、大阪市大（4名）、奈良県立医科大（11名）、和歌山県立医大（3名）の52名となります。また主要大学の現役率は、東京大学71.4%、京都大学63.0%、大阪大学62.5%、神戸大学66.7%となっています。本校の大半の生徒は国公立大学志望ですが、難関私立大学においても早稲田大学44

名、慶應義塾大学32名が合格し、難関私立大学医学部医学科には、慶應義塾大、順天堂大（4名）、東京慈恵会医科大、大阪医科大（10名）、関西医科大（5名）、近畿大（7名）、兵庫医科大（10名）、産業医科大など多数合格しています。

平成27年度入試を振り返って

平成27年度の大学入試センター試験は、1月17日・18日の両日で実施され、志願者数は、559,132人と昨年に比べて1,540人減りました。志願者全体に占める現役生の割合は81.4%となり前年度より上昇しました。大学入試センター試験5教科7科目型の平均点(900点満点)は、文科系は、昨年より9点アップ、理科系は、昨年より1点のアップとなり昨年より易化しました。

今年度から数学と理科は新教育課程からの出題となり内容の変化が注目を集めました。「数学Ⅰ・A」は、課程の移行に伴い、数Aの各分野が選択

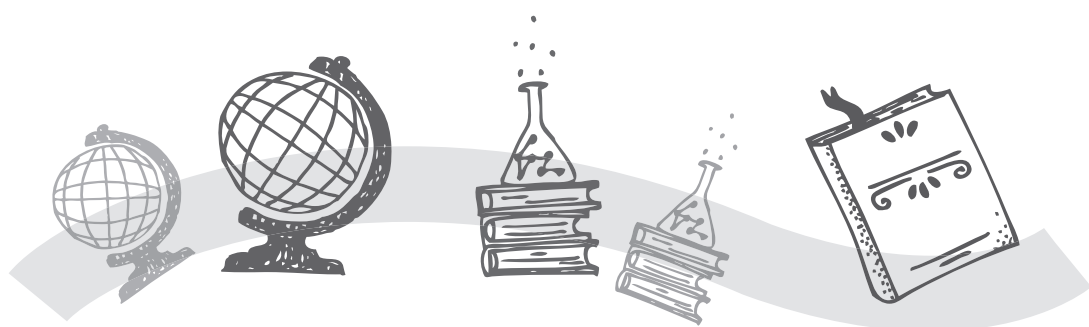
問題となる構成へと変化し、「数学Ⅱ・B」では、新たに「確率分布と統計的な推測」の問題が出題されました。理科②の各科目は、旧課程ではⅡにあたる内容も一部、範囲となり出題範囲が拡大しました。例えば、「物理」では「原子」が扱われたり、「生物」では、チラコイドで行われる反応過程についての出題がありました。平均点をみると、「数学Ⅱ・B」は14点ダウンで平均点が40点を割り込み、「地理B」も11点ダウンしましたが、一方「国語」は20点アップしました。

国公立大学の志願者数は、約47万5千人となり確定志願倍率は全体で4.7倍と昨年並みでした。景気回復の兆しが見え始めたというものの、受験生の安全志向、地元志向は引き続き根強く、全体的に安全志向の受験となったようです。

平成28年度入試について

平成28年度の大学入試センター試験は、平成28年1月16日(土)・17日(日)に実施される予定です。新課程入試2年目となることで旧課程履

修者用の出題（経過措置）は実施されず、現役生・既卒生とも、新課程での勝負となります。また数学・理科に加え、英語・国語・地理歴史・公民が新課程に対応した出題になります。特に英語はこれまで以上にコミュニケーションを重視した出題になると考えられます。センター試験は出題量が多く、「出題形式」に慣れるだけでなく、「多量の問題数」にも十分対応できるようにしておくことが大切です。国公立大学の2次試験は、2月25日からの前期日程試験、3月12日以降の後期日程試験に分かれて実施され、公立大学の一部で、3月8日以降に中期日程試験が実施されます。平成28年度の国公立大学の2次試験対策については、「学問に王道なし」で、日頃より学校の授業を中心に予習・復習を欠かさず行い、基礎学力を身につけ、早めに不得意科目を克服して教科バランスをとることが肝心です。また高校2年までの早い時期に理科や社会まで完成できればかなり有利になります。前年の倍率等の入試結果のデータや入試科目の増減といった情報を気にしすぎると、かえって激戦に巻き込まれる可能性があります。自分が将来やりたいこと」を最優先し、自分を信じて努力し、「絶対合格してみせる！」という強い信念を持つことが大切です。



東大・京大 高校別合格者数 ベスト10 現浪総合

2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
灘	132	灘	146	灘	133	灘	129
東大寺学園	112	西大和学園	111	洛南	103	西大和学園	109
洛南	102	洛南	105	西大和学園	96	東大寺学園	102
甲陽学院	92	東大寺学園	94	東大寺学園	89	甲陽学院	95
西大和学園	82	大阪星光	71	大阪星光	79	洛南	81
大阪星光	73	北野	68	北野	79	大阪星光	72
堀川	66	大阪桐蔭	68	甲陽学院	78	北野	69
洛星	61	洛星	65	洛星	75	洛星	67
北野	59	甲陽学院	62	堀川	55	堀川	60
膳所	56	天王寺	58	膳所	53	天王寺	55

週刊「サンデー毎日」の記事より作成（西日本）

年間行事予定 (H 27. 4.24現在)

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	木		1	日	高1海外探究 中3アメリカ プログラム 語学研修旅行	1	火		1	金	元旦 冬期休業	1	月		1	火	
2	金	午前中授業	2	月		2	水		2	土		2	火		2	水	
3	土	二期期中・前期期末 高2会員の集い	3	火	文化の日	3	木		3	日	↓	3	水		3	木	
4	日		4	水		4	金	午前中授業	4	月		4	木		4	金	高校卒業式予行
5	月		5	木	↓	5	土	二期期期末・ 後期中間考查	5	火	生徒集会 授業開始	5	金	午前中授業	5	土	高校卒業式・謝恩会
6	火		6	金	高1代休	6	日		6	水		6	土		6	日	
7	水		7	土	↓	7	月		7	木		7	日		7	月	後期期末考查
8	木		8	日		8	火		8	金		8	月		8	火	
9	金	↓	9	月		9	水		9	土		9	火		9	水	
10	土	答案返却日	10	火		10	木		10	日		10	水		10	木	
11	日		11	水	駐日HEU大使講演会	11	金	↓	11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	金	
12	月	体育の日	12	木		12	土	答案返却日	12	火	午前中授業	12	金		12	土	↓
13	火	後期開始式・特別校時 答案返却日	13	金		13	日		13	水		13	土		13	日	
14	水		14	土		14	月		14	木		14	日		14	月	答案返却日
15	木		15	日		15	火		15	金		15	月		15	火	
16	金		16	月		16	水		16	土	大学入試センター試験(H3)	16	火		16	水	
17	土	↓	17	火		17	木		17	日	↓	17	水		17	木	↓
18	日		18	水		18	金	↓	18	月	自己採点日(H3)	18	木		18	金	中学卒業式予行 成績確認(放課後)
19	月	成績確認日(授業終了後)	19	木		19	土	成績確認 スキースクール(希望者)	19	火	午前中授業(H3)	19	金		19	土	中学卒業式
20	火		20	金		20	日		20	水		20	土		20	日	
21	水		21	土		21	月	生徒集会・大掃除	21	木		21	日		21	月	春分の日
22	木		22	日		22	火	三者面談会	22	金	↓	22	月		22	火	終業式
23	金		23	月	勤労感謝の日	23	水	天皇誕生日 ↓	23	土		23	火		23	水	春期休業
24	土	中2会員の集い	24	火		24	木		24	日		24	水		24	木	
25	日		25	水		25	金		25	月	三者面談会(H3)	25	木		25	金	
26	月		26	木		26	土	↓	26	火		26	金		26	土	
27	火	中3アメリカ 語学研修旅行(～11/7)	27	金		27	日		27	水		27	土		27	日	
28	水		28	土	定期考查一週間前 中3会員の集い	28	月		28	木		28	日		28	月	
29	木		29	日		29	火	冬期休業	29	金		29	月	定期考查一週間前	29	火	
30	金		30	月		30	水		30	土	↓				30	水	
31	土	高1海外探究 プログラム～11/5 ↓				31	木	↓	31	日					31	木	↓
備 考			備 考			備 考			備 考			備 考			備 考		
心の教育講演会 球技大会…下旬			心の教育講演会			センターマラソン(H3) …下旬～1月上旬			心の教育講演会 国公立大学二次試験出願 …下旬 内部進学説明会(J2)			国公立大学前期試験 …2/25,26 私立大学入学試験…2～3月			国公立大学後期試験 …中旬		

平成27年度 西大和学園 中・高等学校

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水		1	金		1	月	創立記念日 30周年記念式典	1	水	答案返却日	1	土	三者面談会(J1・H3) 藍田の集い	1	火	生徒集会
2	木	始業式	2	土		2	火		2	木		2	日	(次世代リーダー)	2	水	文化祭準備(全日)
3	金	校内リエンション (J2・J3・H2・H3) 中学入学式 高校入学式	3	日	憲法記念日	3	水		3	金	↓	3	月		3	木	↓
4	土		4	月	みどりの日	4	木		4	土	成績確認日(放課後)	4	火		4	金	文化祭
5	日		5	火	こどもの日	5	金		5	日		5	水	↓高1・高2プログラム	5	土	↓
6	月	身体測定 新入生オリエンテーション	6	水	振替休日	6	土		6	月		6	木	夏期休業 閉寮(17:00)	6	日	
7	火	授業開始・二者面談	7	木		7	日		7	火		7	金	夏期講習	7	月	午前(後片付け)午後(授業)
8	水	二者面談	8	金		8	月		8	水	富士登山(J2)	8	土		8	火	
9	木		9	土		9	火		9	木		9	日		9	水	
10	金		10	日		10	水		10	金	↓	10	月		10	木	ファームステイ(J1)
11	土	新入生歓迎 フェスティバル(J1)	11	月		11	木		11	土	↓	11	火		11	金	↓
12	日		12	火	ヤングアメリカンズ (J3)	12	金		12	日		12	水	↓	12	土	↓
13	月		13	水		13	土	定期考査一週間前 高3会員の集い	13	月		13	木	完全休業	13	日	
14	火		14	木	↓	14	日		14	火		14	金		14	月	
15	水		15	金		15	月		15	水		15	土		15	火	
16	木	↓	16	土	3原授業・育友会総会 学級委員会 新旧役員懇親会	16	火		16	木		16	日	↓	16	水	
17	金		17	日		17	水		17	金		17	月	高校(特別補習)	17	木	
18	土		18	月		18	木		18	土	高1会員の集い	18	火		18	金	
19	日		19	火		19	金	午前中授業	19	日		19	水		19	土	中3語学研修旅行・ 短期留学保護者対象説明会
20	月		20	水		20	土	一学期末・前期中間考査	20	月	海の日	20	木		20	日	
21	火		21	木		21	日		21	火		21	金		21	月	敬老の日
22	水	遠足	22	金		22	月		22	水		22	土		22	火	国民の祝日
23	木		23	土	体育祭準備	23	火		23	木		23	日		23	水	秋分の日
24	金		24	日	体育祭予行	24	水		24	金		24	月	中学(学年の取)組み	24	木	
25	土		25	月	体育祭準備	25	木		25	土	次世代養成プログラム	25	火		25	金	
26	日		26	火	体育祭	26	金	↓	26	日		26	水		26	土	芸術鑑賞会(NHKホール・後楽園) 定期考査一週間前
27	月		27	水	代休	27	土	答案返却日 中1会員の集い	27	月		27	木		27	日	
28	火		28	木		28	日		28	火	8月2日まで	28	金		28	月	
29	水	昭和の日	29	金		29	月	答案返却日	29	水		29	土		29	火	
30	木		30	土		30	火	↓	30	木		30	日		30	水	
			31	日					31	金	午前中授業・ 生徒集会・大掃除	31	月	↓↓↓			
備 考			備 考			備 考			備 考			備 考			備 考		
クラブ紹介 自転車通学者願い			自転車安全指導			人権教育講演会(中・高) 富士登山保護者 対象説明会(J2) ホームステイプログラム 説明会(H1)			心の教育講演会(中・高) …下旬 ファームステイ保護者 対象説明会(J1)						避難訓練 人権教育講演会 県高校総体 海外探究プログラム 保護者対象説明会(H1)		

学校行事

中1 明石海峡ブリッジツアー

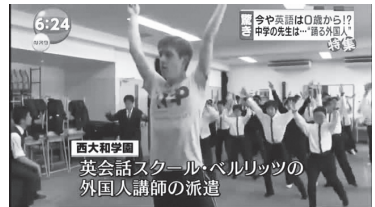


9月21日、教員4名生徒16名で、橋の科学館の明石海峡大橋ブリッジツアーに参加しました。巨大な吊り橋である明石海峡大橋の構造や工事の方法を学び、高速道路の下層にある点検用通路を歩きました。明石市側の主塔を点検用エレベーターで上り、橋全体を張っているメインケーブルを間近に見ながら、皆で地上約300メートルからの眺めを楽しみ、地球の丸さを体感しました。

中2 イマージョン音楽



今年、中学2年生はイマージョン音楽授業を受けています。授業でいろいろなパフォーマンスを練習しま



すがパフォーマンスの種類毎に、評価されます。パフォーマンスに挑戦することで想像力と自信が高まります。グローバルリーダーになる過程で、その2つは大切です。今年初めにはダンスを練習するだけではなく自分たちでもダンスを作りました。最初ダンスを作ることには自信がなさそうでしたが、いいアイデアが出せました。その後、各組歌い出した曲を選びました。大きい声で笑顔で歌うことに苦労していましたが、英語の発音と音程は良かったです。今演技を勉強中です。最初の頃と比べると、自信と想像力が出てきました。どんどんゆとりも出てきています。By Daniel Collins (ダニエル・コリンズ)

中3 アメリカ語学研修旅行



10月の前期期末考査が終わってすぐ、中学3年生は渡米しました。

研修旅行のメインである約1週間のホームステイの最終日にはホストファミリーの方々を招待して「サンキューパーティー」を開催。特設ステージで日本文化の紹介として、空手や剣道などを披露した後、最後には「ソーラン節」を演舞。1ヶ月前から放課後の教室で練習を積み重ねた成果をしっかり披露してくれました。



鳴り止まない拍手の中、マイクを握った生徒が言いました。「よかったら皆さんも踊りませんか？ぜひステージに上がってください！」

すると、ステージにはたくさんのホストファミリーの子ども達が！実は、ホームステイの期間中に各家庭でソーラン節の振り付けを伝えたり、パーティーの合間に練習スペースを作ってレクチャーしていたのです。生徒たちも会場全体に広がってパフォーマンスしました。

笑顔に溢れ、会場が一体となった感動的なフィナーレとなりました。

高1 海外探究プログラム



平成26年10月27日から11月1日まで高校1年生は、トルコ、シンガポール・マレーシア、ベトナム・カンボジアの3行程に分かれ、海外探究旅行へと出発しました。

トルコはイスラム文化であり、アジアとヨーロッパの文化が交差する地域です。イスラムの寺院であるモスクや歴史を感じられるアヤソフィア博物館とトプカプ宮殿を見学して、日本とは異なる歴史文化に触れてきました。また現地の孤児院の子供達や高校生との交流、B&Sプログラムによる現地大学生との交流を通して、トルコに暮らす人々と直接交流することができました。さらにトルコで活躍する日本企業（IHI）へ企業訪問して、日本人として他国にどう貢献できるのかということ自分の目で見ることができました。このように

異文化に触れて自分を知るといふ貴重な経験を得ることができたプログラムでした。

シンガポール・マレーシア班は、まずシンガポールで働く企業の方との交流会を通して、海外で働くことの楽しさ・やりがい・苦労などを教えていただきました。マレーシアでは、ジョホールバル学校交流、マレー文化村体験において、言葉はなかなか通じませんでしたが、生徒たちは、民族衣装を身にまとい、身振り手振りで会話をし、一緒にゲームやサッカーをし、心を通じ合わせ有意義な交流ができました。またイスカンダル計画センターの見学では、その巨大な都市開発に圧倒され、新たな産業が根付き、多くの雇用を伴うであろうその未来を実感してきました。このような体験を通して、生徒たちの視野が大いに広がるプログラムでした。

ベトナム・カンボジア班では、SGH1期生として、生徒たちの研究の現地調査の一環として、ベトナム・カンボジア方面へ行って参りました。カンボジアにおいては、かものはしプロジェクトの視察や現地小学校での生徒交流、ベトナムにおいては戦争学習や現地JICA職員の講演等を通じて、「貧困とは何か」「私たち日本人ができる貢献はどのようなものか」というSGHの研究テーマについて見聞を広げ、今後の研究をより現状に沿ったものにするきっかけにすることができたプログラムでした。



模擬国連(全日本高校模擬国連大会)



今年で4年連続の全日本大会。「国際大会(in New York)に必ず駒を進める」というのが6代目の生徒たちの予定でした。学内で練習会議を重ね、学外での取り組みにも参加し、多角的なものの見方ができるような視点が増え、自信と熱意を持って大会に臨みました。彼らは積極的な言動を繰り返し、抜群の



全では7代目に託し、この悔しさも次の代に晴らしてもらえるように託しましょう！



SSHスーパーサイエンスハイスクール



本書のSSHでは中高一貫の6年間を使って、論理的思考力や批判的精神、社会還元性の育成を体系的に行っています。中1ではウミガメの産卵観察や明石海峡大橋の見学などを通して自分が生きている社会の興味深さを、中2ではクエストと呼ばれる実在企業のインターン制度を利用し、実在企業から与えられた課題への解決方法を学びます。また、中3は中学の集大成として、興味ある分野から独自の課題を見つけ出し、解決することを目指して各自卒業研究を行います。更に、高校では高1ではトップサイエンスに対応するための知識や技術やプレゼンテーショ



ンの仕方を学び、高2では実際に京都大学や奈良先端科学技術大学院大学の研究室にてラボステイを行います。普通の高校生では体験できないようなレベルの高い環境や人々に感化され、将来像の実現のために生徒たちは積極的に取り組んでいます。



SGH(スーパーグローバルハイスクール)

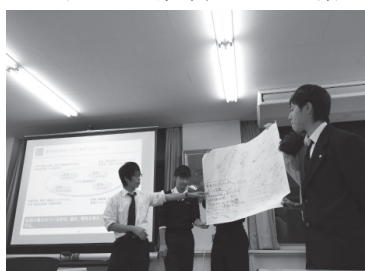


今回は、今年度よりスタートしたSGH事業の第1期生が受講しているSG研究Iの概要について紹介します。

今年度は「貧困の原因究明と日本の役割を考察する」というテーマをもとに貧困地域の研究やプレゼンテーションのあり方など様々な活動が行われました。

まずは大学や大学院(東京大・大阪大・専修大・グロービス経営大学院)・外務省・JICA・企業(JETRO・鴻池運輸)、本校教員の諸先生方におけるSG講義において、講義ばかりでなくワークショップも取り入れた活動も行いました。

それに10月には、ベトナム・カンボジアでの海外探究プログラムを通して、日本ではなかなか得られないフィールドワークを経験しました。その活動をもとにして、それぞれの探究グループが研究テーマを設定し、2月の校内発表会でその研究内容を発表しました。その研究内容をさらに次年度のSG研究IIで発表させていく予定にしています。今後のSGH事業にもご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



Yamato University

大志を、まとえ。

学校法人 西大和学園



大和大学



大和大学は2014年4月に「教育学部」「保健医療学部」の2学部体制で開学しました。

西大和学園は小・中・高の若い教員を数多く養成してきた実績があり、まさに「教育」は得意分野。これまで培ってきた経験を生かし、独自の実践教育を展開していきます。「保健医療」に関しては、医療関係者に評価の高い白鳳短期大学の人材育成、実践教育を4年制にスケールアップ。関西圏の大規模病院と連携して、より充実した学びを展開します。

また、キャンパスはJR大阪駅から8分の位置にある最寄駅「JR吹田駅」から徒歩7分。都心とは思えないほどの緑に囲まれた環境と立地条件を誇ります。

さらに、2016年4月には西日本唯一の政治経済学部を新設予定であり、大和大学は一大総合大学へと成長していく、その第一歩をふみだしてまいります。

小・中・高の教員をめざすなら、また、看護・リハビリの資格をめざすなら、是非みなさまのお知り合いの御子息をご紹介いただければ幸いです。

近況報告



西大和学園
カリフォルニア校

西大和学園育友会会員の皆様、こんにちは。西大和学園カリフォルニア校の学園長を勤めております西川勝行と申します。高1アメリカホームステイプログラムならびに中3語学研修では、米国内の研修の企画をさせていただいております。

西大和学園カリフォルニア校もここロサンゼルス日本人コミュニティでは、知らない人がいないまでに成長し、当地における日本人教育の一翼を担っております。それでは私たちの学校、NAC (Nishiyamato Academy of California) について紹介いたします。創立23年目のアメリカ西海岸唯一の文部科学省認定の「私立全日制日本人学校」です。学校があるのはロサンゼルス郊外のロミタ市というところです。この地域は日本人がとても多く在校生のほとんどがこの地域の日系企業の駐在員の子供たちです。幼稚園、小学校、中学校の13学年で約160人の子供たちが在籍しております。また2002年に開校した土曜補習校もこの4月には560人になり全日

制、土曜補習校合わせ720名を超える大所帯になり、学校全体が活気に満ち溢れています。土曜補習校とは、普段、アメリカの現地校に通って土曜日だけ日本語と日本の教育を受けるための学校で、駐在員と現地に永住している日本人及び日系人の子供たちがたくさん通ってくれています。NACでは、子供たちの個性を伸ばし、豊かな人間性と感性を育み、思いやりのある真の国際人の育成を目指すことを教育目標として日々懸命に取り組んでおります。これからのカリフォルニアで日本の本校の皆さんに負けないようにがんばる子供たちを育てて行きたいと思っておりますので、育友会の方々の皆様方には、今後とも暖かいご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。

